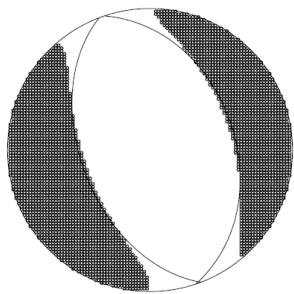


12月25日 バヌアツ諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

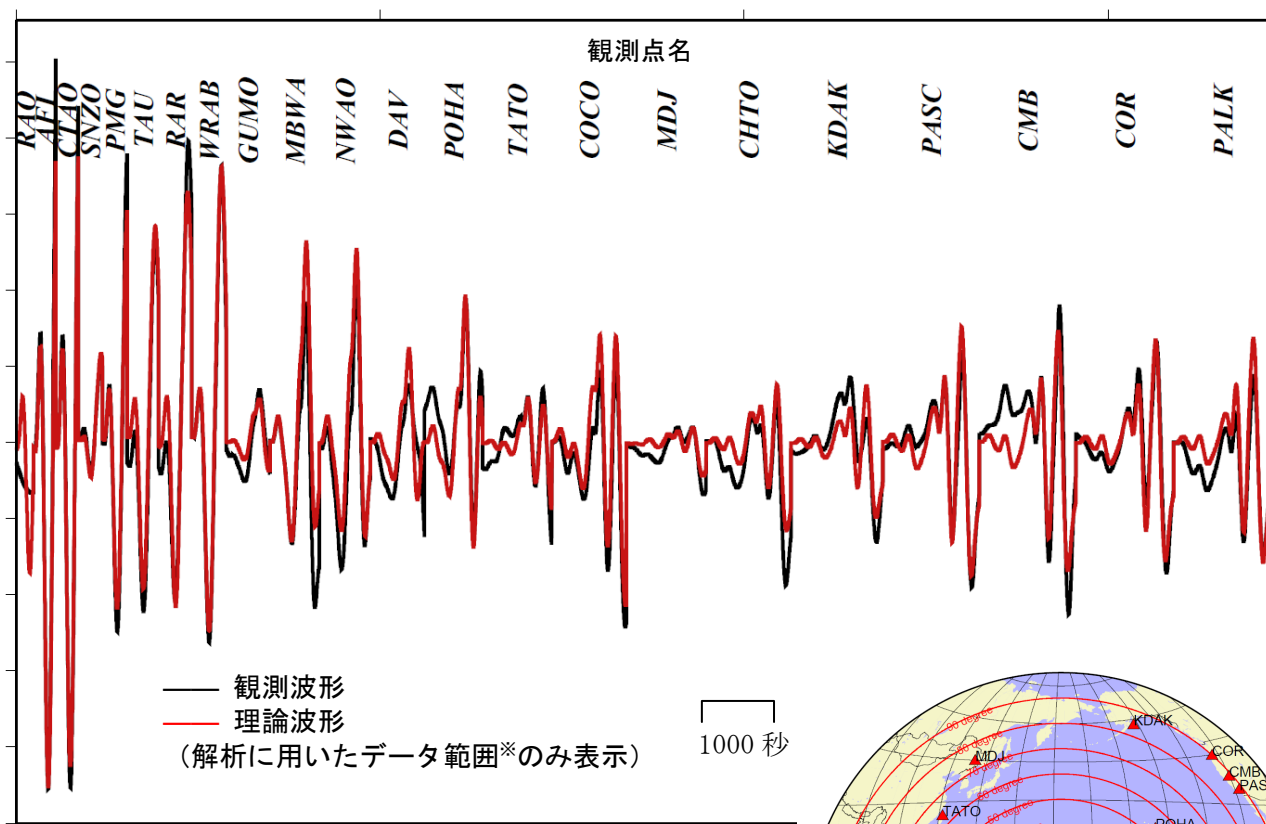
W-phase による解



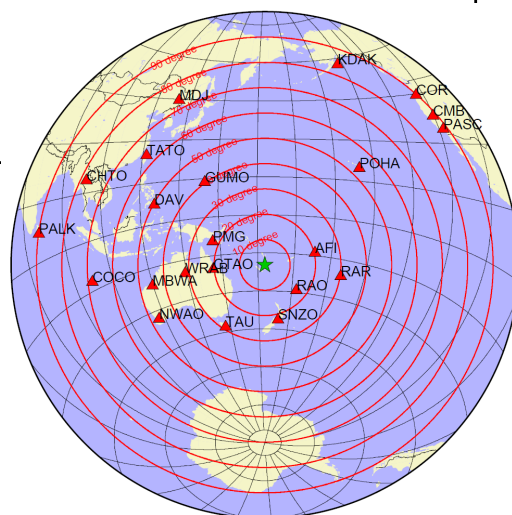
2010年12月25日22時16分(日本時間)にバヌアツ諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mwとも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mwは7.3であった。なお、最適位置は S19.8°, E167.8° となった(深さはUSGSによる12.3kmを使用した)。

W-phaseの解析では、震央距離10°~90°までの22観測点の上下動成分を用い、200~1000秒のフィルターを使用した。注)W-phaseとはP波からS波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw7.3(7.26)



※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。



解析に使用した観測点配置

(W-phaseに関する参考文献)
Kanamori, H and L. Rivera (2008): Geophys. J. Int., 175, 222-238.

IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。また、解析に使用したプログラムは金森博士に頂いたものを使用した。記して感謝する。